

第五回ハナショウガ研究会

日時：2010 年 8 月 19 日(木)

場所：近畿大学農学部 211 教室(〒631-8505 奈良市中町 3327-204)

Tel & FAX 0742-43-7415(北山研究室直通)

<http://nara-kindai.univ.jp/01gakubu/access.html> (近畿大学農学部アクセス)

<http://nara-kindai.univ.jp/03campuslife/bus.html>(バス時刻表) 富雄発 9:58

(総合司会：北山隆)

I. 研究会幹事挨拶(開会)・連絡・報告(10:30～10:45) 北山 隆 (近畿大学農学部)

II. 研究課題紹介

発表グループ 「近畿大学農学部・北山グループ」「長浜バイオ・河合グループ」

「京都大学農学部・村上グループ」「京都大学大学院薬学研究科・伊藤グループ」

10:45～12:06 (発表 5 分間 質疑 3 分間 交代 1 分) (座長：西川陽大(修士 2 年)・川畑元気(修士 2 年))

太田 佐昌(M2：北山)	ゼルンボンからつくられる「森の香り」の正体は？
斉藤あゆみ(M1：北山)	ゼルンボンはヘキササンがお好き？
堀井 直孝(M2：河合)	水溶性ゼルンボンの微生物変換
山田 健太(M2：河合)	ゼルンボンおよびその誘導体の微生物変換
木村 亜久里(B4：河合)	Chiral ゼルンボンの絶対配置決定法の開発
高橋 一生(B4：北山)	アミノゼルンボンはなぜ変化するのか？
岩井 彩乃(B4：河合)	アミノゼルンボン誘導体の合成と抗菌活性測定
亀尾 昌樹(B4：北山)	不斉アレンゼルンボンは合成できるのか？
大西 康太(D1：村上)	抗発がん性テルペノイド zerumbone の標的分子

昼食 12:06～13:20 (ショートトーク 1 分間 12:30～12:50 (PP1 枚：約 1 分) (A-1～A-10→B-1～B-7))

13：20～14：00 伊藤 美千穂(京大院薬)

座長：北山隆(近畿大学)

「心もネズミもおとなしく—香りによる鎮静効果」

III. ポスター発表 14：05～15：00(A：北山 G) 15：05～16：00(B：河合 G、村上 G)

コア発表時間 ポスターA (14:50～15:35) ポスターB (15:35～16:20)

北山 G： A-1.川畑元気(M2),A-2.妻形博紀(B4),A-3.中尾圭佑(M2),A-4.田口芳典(B4),A-5.田中政志(B4)

A-6.西川陽大(M2),A-7.野村真知(B4),A-8.藤井健二(M1),A-9.芝田実希子(B4),A-10.磯森幸子(B4)

A-11.斉藤あゆみ(M1),A-12.太田佐昌(M2),A-13.亀尾昌樹(B4),A-14.高橋一生(B4)

河合 G： B-1.松浦怜(M2),B-2.山本麻友(M2),B-3.松本美奈子(M1),B-4.大前千草(B4),B-5.白木美帆(B4)

B-6. 相江孝恵(B4),B-7.長谷川匡加(B4), B-8.堀井直孝(M2),B-9.山田健太(M2),

B-10.木村亜久里(B4),B-11.岩井彩乃(B4)

村上 G： B-12.大西康太(D1)

IV. 閉会の辞 宮脇英昭 (大洋香料(株))

V. 写真撮影

VI. 情報交歓会(西大寺) 18:00～ 近大発 17:18